

農福連携に 取り組んでみませんか？



Q. 「農福連携」とは？

- A. 障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組です。

Q. 「農福連携」に取り組むメリットは？

- A. 現在、農業分野では、人材不足、労働力不足が大きな問題となっています。そのような中、地域の障がい者は、農業経営における貴重な戦力となり得る存在です。

今後、高齢化が進む中で、ますます農業の労働力が不足していくことが考えられます。

地域農業の維持・発展のために、地域の障がい者と連携して取り組むことが必要となってきます。



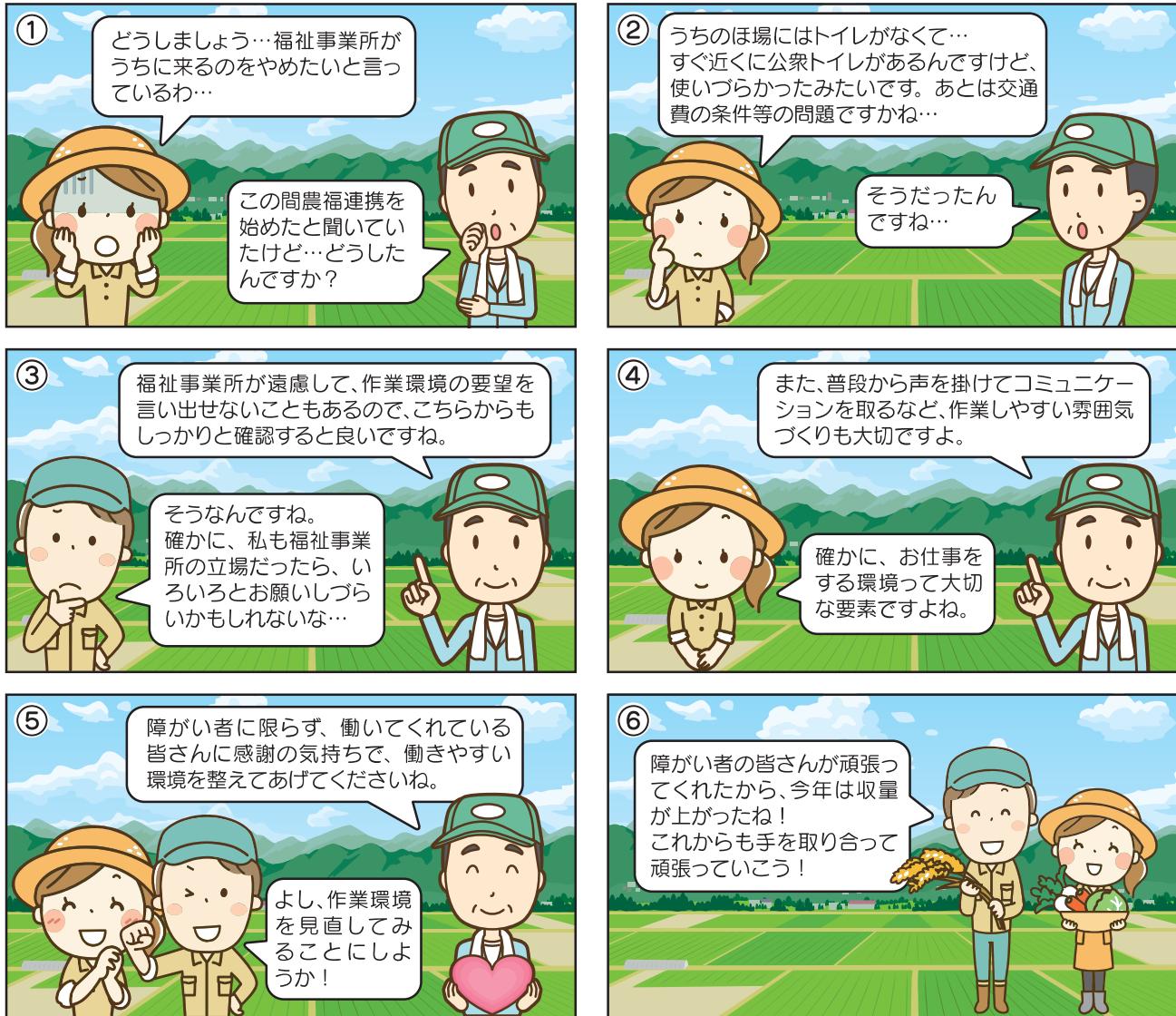
～ 農福連携を始めたい人のために①～



～ 農福連携を始めたい人のために②～



～ 農福連携を始めたい人のために③～



☆ポイント☆

③工賃や作業内容については、福祉事業所と十分に打合せをした上で、お互いに納得できるようにしましょう。

例えば、まずは2~3日程度作業をしてもらい、その後に工賃を決めるというのも一つのやり方です。また、コンテナあたりいくら等といった出来高によることも可能です。

④障がいの方は、様々な作業が可能です。また、最初は出来なくても、繰り返し作業を行うことで、出来るようになります。

⑤障がいの方は、任された仕事を頑張ろうと思ってきてくれています。農家さんが、障がいの方に対して理解を深め、作業しやすい環境作りに努めることが、農福連携の成功の秘訣です。

障がい者にとって魅力的な、選ばれる経営体を目指しましょう。そうすることで、誰もが働きやすい経営体になり、雇用の確保にも繋がっていきます。



～ 農福連携に取り組む農家さんにお尋ねしてみました～



(豊後大野市：いちご農家)
あきらきら農園
園長 赤嶺 正義 氏

● 農福連携を始めたきっかけ

4年ほど前から加工にも取り組んでいるのですが、その中で障がい者施設の方と知り合う機会があり、これも何かの縁と思って始めてみました。

● 障がい者を受け入れるということ

最初に来た指導員の方の「障がい者を怖がらないでください」という言葉が印象に残っています。最初は、どうしたら怪我をさせないように作業が出来るか、ということばかり考えていましたが、実際に様子を見るうちに、こんな作業もできるんだ、と思うようになりました。

● 障がい者を含め、いろんな人たちが働きやすい環境づくりを目指して

農福連携に取り組むにあたって大切なのは、①自分の伝えたいことを整理してしっかりと伝えること、②働きやすい環境の整備、だと思っています。障がい者の方に作業をお願いするときは、指導員の方を通じて指示を出すのですが、指示が具体的でないと障がい者の方もどう作業を進めていいか分からず仕事がはかどりません。

また、障がい者の方が作業しやすいよう、仕事の細分化、プログラム化にも目を向ける必要があります。

ただ、こういったことは、実は農福連携に限ったことではなく、一般的な「雇用」においても大切な要素です。

例えば、休憩室やトイレの設置はもちろん、急な用事でも休みを取りやすい環境など、障がい者の方が働きやすい環境を作るということは、みんなが働きやすい環境を作ることにつながります。

農福連携に取り組むということは、経営体として成長できるチャンスです。

難しく考えず、まずはゆるーい気持ちで始めてみてはいかがでしょうか。

お問い合わせは下記の連絡先にお願いします。

大分県 東部振興局

生産流通部 営農推進班 TEL:0978-72-1141

大分県 南部振興局

生産流通部 営農・集落・畜産班 TEL:0972-22-1195

大分県 西部振興局

生産流通部 営農推進班 TEL:0973-23-2217

大分県 農林水産部

新規就業・経営体支援課
経営体育成班 TEL:097-506-3598
Mail:a15270@pref.oita.lg.jp

大分県 中部振興局

生産流通部 営農推進班 TEL:097-506-5796

大分県 豊肥振興局

生産流通部 営農推進班 TEL:0974-63-3177

大分県 北部振興局

生産流通部 営農推進班 TEL:0978-32-1555

大分県 福祉保健部

障害者社会参加推進室
就労促進班 TEL:097-506-2726
Mail:a12370@pref.oita.lg.jp



大分県の農福連携情報はこちらをどうぞ!!



大分県 農福連携

検索

<https://www.pref.oita.jp/site/oitanoufuku/>